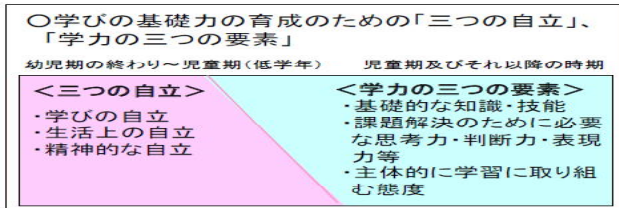


守谷市保幼小連絡協議会

平成27年12月10日(木)
守谷市保幼小連絡協議会事務局 大井沢小学校

1 「保幼小」の一貫を目指して

本市では、「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」(平成22年11月11日)において、幼児期から児童期の教育課程や指導計画の留意点にある「三つの自立」に着目して、「保幼小一貫教育」を進めている。



「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について」

2 「きらめきプロジェクト」の理念を協議会に反映させる

協議会においては、昨年度から継続して「三つの自立」の各観点と、守谷市小中一貫教育「学びのプラン」(学習・生活)との内容を関連付けるために、次のようなねらいで実施した。

- 保・幼の保育担当者と小学校の低学年担当者とが、以下のことについて相互理解を図ることによって、本市の保幼小の円滑な接続を推進する。
- 子供の発達や日常の指導について
 - 守谷市保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」の理念や取組について
 - 守谷市保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」の『学びのプラン』のスキル内容について

3 協議会の内容

- (1) みずきの幼稚園 5クラス 保育参観
- うさぎ組(3歳児) 英語でゲームを行い、ルールを理解してみんなで楽しむ。
くま1組(4歳児) 針の使い方を知り、約束を守って縫い物を楽しむ。
くま2組(4歳児) 針の使い方、約束を確認し、クリスマスブーツを縫う。
ぞう1組(5歳児) 小学生との交流を深め、楽しくクリスマスの作品を製作する。
ぞう2組(5歳児) 郷州小学校5年生とのふれあいを楽しむ。



うさぎ組

くま組

ぞう組

- (2) 研究協議
今年度も、グループ協議の場を設定し、保・幼の園長、保育担当者と小学校の校長、低学年担当者とが次のような内容で熱心に協議を行うことができた。

- 1 保幼小の円滑な接続のために留意していること
「遊び」の中で育った学びに向かう力を
「学び」につなげるために
○ 小学校では ○ 保育所(園)・幼稚園では
- 2 保幼小接続期に共通して育てる「学習スキル」
「生活スキル」の共通理解
守谷の子供を育てるために、保幼小が一貫して身に付けさせるスキルとは
○ 学習スキルでは ○ 生活スキルでは



研究協議

4 今年度の成果

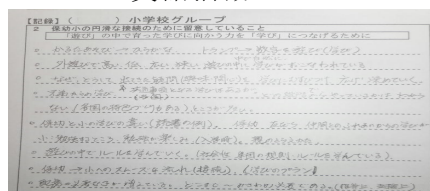
- 英語活動において、幼稚園での英語活動を参観し共通理解したことで「守谷市小中一貫教育計画」の小学校における「使用表現」、「コミュニケーションモデル」、「可能な自己表現」への接続など「英語で話せる守谷の子」の育成が図れる。
- 保育参観の観点や協議内容を事前に周知したことから、保育参観の視点、自校での取組を積極的に交流し、接続への共通理解が図れた。



英語活動

5 今後の課題

- 連絡協議会時の交流だけでなく、保幼職員による小学校授業参観、小学校職員による保育参観の機会を設け、より共通理解を深め保幼小の連携を図り接続を深めたい。



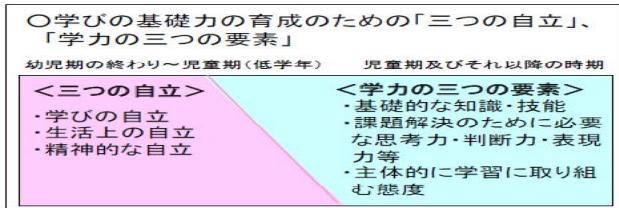
協議シート

守谷市保幼小連絡協議会

平成27年12月10日(木)
守谷市保幼小連絡協議会事務局 大井沢小学校

1 「保幼小」の一貫を目指して

本市では、「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」(平成22年11月11日)において、幼児期から児童期の教育課程や指導計画の留意点にある「三つの自立」に着目して、「保幼小一貫教育」を進めている。



「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について」

2 「きらめきプロジェクト」の理念を協議会に反映させる

協議会においては、昨年度から継続して「三つの自立」の各観点と、守谷市小中一貫教育「学びのプラン」(学習・生活)との内容を関連付けるために、次のようなねらいで実施した。

- 保・幼の保育担当者と小学校の低学年担当者とが、以下のことについて相互理解を図ることによって、本市の保幼小の円滑な接続を推進する。
- 子供の発達や日常の指導について
 - 守谷市保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」の理念や取組について
 - 守谷市保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」の『学びのプラン』のスキル内容について

3 協議会の内容

- (1) みずきの幼稚園 5クラス 保育参観
- うさぎ組(3歳児) 英語でゲームを行い、ルールを理解してみんなで楽しむ。
くま1組(4歳児) 針の使い方を知り、約束を守って縫い物を楽しむ。
くま2組(4歳児) 針の使い方、約束を確認し、クリスマスブーツを縫う。
ぞう1組(5歳児) 小学生との交流を深め、楽しくクリスマスの作品を製作する。
ぞう2組(5歳児) 郷州小学校5年生とのふれあいを楽しむ。



うさぎ組

くま組

ぞう組

- (2) 研究協議
今年度も、グループ協議の場を設定し、保・幼の園長、保育担当者と小学校の校長、低学年担当者とが次のような内容で熱心に協議を行うことができた。

- 保幼小の円滑な接続のために留意していること
「遊び」の中で育った学びに向かう力を
「学び」につなげるために
○ 小学校では ○ 保育所(園)・幼稚園では
- 保幼小接続期に共通して育てる「学習スキル」
「生活スキル」の共通理解
守谷の子供を育てるために、保幼小が一貫して身に付けさせるスキルとは
○ 学習スキルでは ○ 生活スキルでは



研究協議

4 今年度の成果

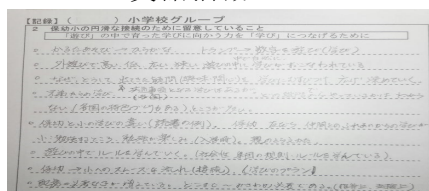
- 英語活動において、幼稚園での英語活動を参観し共通理解したことで「守谷市小中一貫教育計画」の小学校における「使用表現」、「コミュニケーションモデル」、「可能な自己表現」への接続など「英語で話せる守谷の子」の育成が図れる。
- 保育参観の観点や協議内容を事前に周知したことから、保育参観の視点、自校での取組を積極的に交流し、接続への共通理解が図れた。



英語活動

5 今後の課題

- 連絡協議会時の交流だけでなく、保幼職員による小学校授業参観、小学校職員による保育参観の機会を設け、より共通理解を深め保幼小の連携を図り接続を深めたい。



協議シート